



## 小鳥のお母さん

---

### 小鳥のお母さん

6月の長雨の時期です。

雨は毎日の様に降っています。

我が家の回りでは小鳥が巣をたくさん作っています。

しかし、今年はなぜか屋根下のガーターに作っています。

簡単に塀に登って手の届く所にも卵を2個産んでありますよ。

雨水が流れてくると流されてしまうのではと心配していました。

雨が降った時に巣を見ました。

すると水が流れて来ても大丈夫な高さに作っていますよ。

下の方が大きな木の枝で段々上にと細かい枝や草で

上手に丸く編み込みをしています。

器用ですよ。

くちばしと足だけで作ったのかと感心しました。。

私達は両手に両足もあるのに。。

もっと頑張らねばと反省しつつ掃除に精を出していると

突然、大きな氷がどっさっと降り出し。。

あ。。小鳥の卵が割れると。。どうしよう。。ああ。。

雷のピカピカ、ドンドン、とても怖いけど。。

勇気を出して

カッパを付けて塀に昇り巣のある所へ手をあてました。

すると、バタバタと親鳥が飛び立って行きました。。

あら、まあ、、お母さん！いたの？

こんなに大きな氷が降っているのに。。

お母さん、、痛かったらるに。。

卵を守っていたのね。。

と手で卵の数を確認しました。

ちゃんと2個ありホットしましたが。。

氷は屋根に当たって跳ね返って飛んでいく音の大きいこと。。

そんな中に親鳥は体を張って卵を守っていたんですよ。

そんなお母さんの姿は強く美しいと。。

なんだか。。胸をうたれました。

私も力強く生きていかねばと思いました。

今年の梅雨は毎日ように雨が降るので嫌だなと  
思っていました。。

とんだ素晴らしい光景を見させて頂きました。

私達は本を読んだり人から学んだりする事の多い中に

こうして小さい小鳥から教えられた事がとても貴重に思います。

小鳥のお母さん！本当にありがとう。。

何も無ければね

---

何も無ければね

たまには嫌な事もないとね。

あら、そうなの？

嫌な事は無い方が良いわよ。絶対にね。

もちろん、そうよ。

でも世の中、嫌な事がまるっきり無いなんて無いわよ。

だから、少々嫌な事もあった方が普通なのよ。。世間並みとってしまうわ。

あり過ぎても参ってしまうけど。。

そんな時は自分の悪い物を取ってもらっていると思えば

辛抱もできるもんだよ。。

じゃ私も取ってもらっていたんだ

ある意味有難いことだったのね。。

そうよ、嫌な事もたまに起きないと

世の中の人ってね。何が良くて悪いのか解らなくなるわよ。

何不自由なく育った人は社会に出てから苦勞するって言うじゃない。

ある意味、私みたいに苦勞の連続を経験して来た人にとって

何事も起きずに平穩でいる事が怖いわ

だから、時には困り事が起きた方がもっと頑張れる気がするわよ。

世間の人在必死にもがいているのに私だけが平穩で

あるとどうも申し訳無く思ってしまう。

これって貧乏性よね。

いやいや、貴女だからそう思えるのよ。

苦勞の後に得た悟でしょう。

私も貴女みたいな考えになりたいわ。。

大丈夫よ嫌な事から逃げずに踏ん張って乗り越えるのよ。

わかったわ。。何にも無ければ詰らないものね。。



## 日陰さん日当さん

---

日陰さん日当さん

夏の暑いときに日陰さんを見ると身も心もほっとしますよ。  
冬には日当さんが暖かくていいよね。  
夏となれば。。日陰さんは大もてよね。  
暑い陽出しがギンギラと照っていると  
その光りを裂けて日陰の方に目が自然に向いてしまうわ  
また、忙し過ぎてストレスが貯まっている時などは  
日陰さんを見るとふっとゆっくりした生活がしたいと  
思ったりするわ。

暑い日に太陽がガンガンに照っていると日当さんも  
大変だと思うよ。  
日陰さんはそんな頑張っている日当さんや  
必死に働いている人や動物の為に安らぎを耐える為に  
あるのよね。きっとそうよね。日陰さん！

ああ、どうだよ。。僕達、日陰はガンガンに照っている日当さん  
一休みする為さ。。もちろん、人間や動物の憩いの為さ。。  
でも、僕たちも日当さん達を見ると羨ましいと思うことがあるよ。

あら、どうして？

だって、僕らはいつも暗くって、じめじめしているだろう。。  
だから、いやだいやだと思うからカビが生えるんだよ。。

そっか、カビって嘆きの後なんだね。。  
だから、物にカビが生えた時に日当たりに干してきれいにしているんだ。。  
そう考えると日陰さんと日当さんはお互いに必要な存在なのね。

そうだよ。。  
僕たちは無くてはならないお友達だよ。。

いつもでも仲良くしてね。



鹿さん、ようこそ

---

鹿さん、ようこそ

7月の暑い昼下がりです。

二階にいた娘があ〜と大声を出しました。。

どうしたの？

庭に鹿が来ているよ。。

え〜？

とドアを開けて見ると

本当に大きなメス鹿さんが来ていました。

とっさに手を降って挨拶をしました。

鹿さん、久しぶりね。。

8年前にもちょっと顔を出したよね。

どうしてたの？元気だったのね。

と声を掛けていると頭を少し下げてくださいました。

まあ、貴女はお行儀が良いのね。

あの時、一緒にいたお父さんとお母さんはどうしたの？

もう亡くなったの。。

だから私ひとりなの。。

あら、まあ。。どうして？



う～ん。。食べる物が無くなってきたから。。  
前は野原だった所にどんどん家が建つようになって  
草が食べれなくなったから  
体が弱って病気になって死んだの。。

でも私には食べ物を食べさせてくれたわ。。

あら、そうなの。。それは可哀想にね。  
今、お腹空いているのね？  
それで川つたいにここまで来たのね？

そう。8年前にお父さんとお母さんと来た時に  
ここは草木が沢山植えてあったし、  
野生の草も美味しそうにたくさん生えていたから。。  
人も優しそうだったからてみたよ。

そうっか、思い出してくれたのね。  
ありがとうね。  
そこの草をたくさん食べてね。  
と話す

杏の木の下の草を美味しそうに食べながら  
また、大きなお目目を閉じたりしながら私の話を聴いてくれました。

なんと美しい光景でしょうと思えば眺めていると  
ゆっくりと裏庭の方へ帰っていきました。

また、来てねと手を降りながら後を追いかけてました。

しかし、何処へ行ったのか見当たりません。。  
消えてしまった様な気がしました。

あ～これはきっと神様が励ましに来てくれたんだと  
きっと、そうよ。。8年前もそう思ったもの。。  
今回もそうだよ。きっと良いことがあるわよ。  
希望がわいてきました。  
すこし、嫌なことや辛いことが起きても

大丈夫よ。

その美しい鹿の光景を思い出して  
乗り越えていけるわよ。

ありがとう。。また、来てね。

## 美しさより騒音

---

### 美しさより騒音

7月4日はアメリカの独立記念日です。  
その数日前から夜になるとあっちやこっちから  
ドンドンと花火を打ち上げる音が聴こえてきます。  
その音を聴くと待ち遠しいんだあ。。  
アメリカ人が独立を祝いたい気持ち解りますが。。  
同時に、元々いた原住民にとってはこの独立記念日をどう受け取っているのでしょうか。  
こう考えてしまうのは私だけでしょうか？

この日はアメリカ中から何十時間も掛けて家族の元へ  
車や飛行機で駆けつけてくる大事なイベントになってます。

当日は外でバーベキューをして家族団らんを過ぎて盛り上がり  
暗く成るのを今か、今かと待ちます。。その待つ間が楽しい様ですが。。  
いよいよ夜の9時に外が暗くなると待っていましたばかりに  
ボンボンと花火が打ち上げられます。  
すると、あっちでも、こっちでも競争するかのよう  
盛んに打ち上げて行きます。

もちろん、公共の場所でも大きな花火大会があり  
もの凄い数を打ち上げます。。  
しかし、最近はその音に負けまいと各家でも大きな花火を打ち上げだします。  
すると、折角の美しい花火を見ようと夜空を見上げて  
花火など見えません。。  
皆の上げる花火で空が明るいのです。  
あっちをみてもこっちを見ても薄明るい空に煙が見えるだけです。

ああ、、アメリカ人は美しさより騒音を楽しむ国民だ  
と思うました。

また、それがアメリカらしいとも思いました。  
長年、アメリカに住んでいてもつい、日本の風情のある花火大会を  
考えてしまいます。  
そこで『日々之好日』と言う事が過りました。

この言葉の本当の意味は生まれ故郷、国を忘れて今、居る所を愛しなさいと言う意味だそうです。

いつまでも生まれ故郷を懐かしく思っているよりも  
今、住んでいる所、国の文化、習慣を受け入れて  
楽しみなさい。。

そうする事が幸せになる近道と教えているのです。  
この事を京都の福德寺の和尚さんに教わりました。  
その方はもう他界しましたが  
私に一番、必要な言葉を教えて頂いたと感謝しております。

日々の暮らしの中で日本の事を羨む時はこの言葉を  
思い出す様にしています。

そうすると嫌な事でも受け入れ安く  
損を特と感じる様になり。

腹を立てる事も減り慣れていました。

## 障害は技能

---

### 障害は技能

そんなこと今まできいた事がないわ  
どんな時に使うの？

それは簡単よ。

たとえば、お付き合いを申し込まれて断るのに  
困った時に私には障害がありますと言えば  
相手は引っ込んでしまうよ。

だから、見た目で軽く近寄って来る人なのか  
見分けやすいよね。

障害があると便利よ

だから時間を無駄にしなくてもすむし。。

本物の素晴らしい人を見つけられる。。

ある意味、振るい分けるザルみたいなものよ。

障害があるってことは。。素晴らしい。。

余分に技能を持っていることにもなるね。

なるほどね。。それは良いことを聞いたわ

自分が少し不自由の方が本物を見分けるのに便利ってことね。

あ～よかった。

実は私、悩んでいたんだ。。

でも、徳した気分

勇気が出て来たわ。

ありがとう。。私は特別なんだ。。

もちろんよ。

## 痛みは偉大なり

---

痛みは偉大なり

私は心身共に健康です。

しかし、視力が低下してからは  
回りの人の手助けを受けたりします。

自分としては障害者だとは思っていません。

しかし、回りの方はしっかり障害者だと決めています。

障害者は手が掛かる、

だから回りの方が疲れるから

障害者を大変な存在においてしまいがちな

私に取っては不自由になってきても

何とか不自由に慣れて人生を楽しく過そうと懸命である。

しかし、時にそんな人に対して口にする他人の言葉は大した事ではなくても

言われた本人にしてみれば以外と傷ついてしまう。

そんな時はあなたも不自由になった時にわかるわ。。

と心の中で呟くわ。

さもないと私の不自由が泣くわ。。

私はいままで不自由なく活発に生きてきました。

こうして障害者と回りから言われる立場になってからは

色々と考えさせられ学びました。

それは何不自由な時は考えもつかない事ばかりです。

だから同じ人生で二通りの立場を経験できた事が

逆に恵まれていると思う様になりました。

この経験を知らずしてこの世を去るより

知ってあの世に戻れば又、生まれ変わって来た時に

とても役に立つでしょう。

その時はもっと障害者の方々に理解をしめして

その方々のお役に立てる様な仕事をしたいですね。

この世にさよならをする前にこんな考えになったのも

不自由な身になったお陰ですね。

ですから障害があるという事は偉大な事に思います。

さあ、、来生が楽しみなってきましたよ。

## 幸せはそこに

---

幸せはそこに

幸せって

どこにでも転がっているね  
子供の笑い声とか  
セミの声とか  
ちっちゃな蚊のブンブンと鳴く声とか  
風がビュンビュン吹いているとか  
雨がざあざあ降っているとか  
お花が咲き出したとか  
近所の犬の吠える声とか  
『ただいま』『おかえり』とかね  
『美味しかったよ』『ご馳走さま』とか  
『ありがとう』とかね  
普通の素朴な中にたくさん隠れん坊しているよね  
それをひとつでも見つけたら幸せ者よね  
たくさん見つけたら何時でも笑っているわよ  
そして素朴はいいなあとしみじみ思うよね。  
そうすると儉約をして環境に良い暮らしをしたくなるよね  
そうしているともう最高に幸せを感じられるよね

よっし、、一つづつ見つけましょうか  
私も見つけるわよ 毎日、どんな時もね  
そして世界一しあわせ者になるんだ。。

こんにちはメロンちゃん

---

こんにちはメロンちゃん

8月の暑い頃のことです。

春に植えた桃の木の回りにカボチャやキュウリに似た様な大きな葉っぱちゃんがツル状に長く伸びています。

黄色い花もたくさん咲いてます。

そこには種をまいた事もない所ですよ。

なんの植物か知りません

だから実のなるのを待ちましょう。。と1ヶ月が経ちました。

暑さがひかえめになる昼下がりに

木陰になっていました。

どれどれ と草むしりをしました。

その大きな葉っぱちゃんの下にある草も引っぱりました。

すると。。。びっくりです！

何があったと思いますか？

なんと！

大きなメロンちゃんが顔をだしました。

え〜！！おや、まあメロンちゃんだったの？と

思った瞬間に家の方へ走り出していました。

そして娘にこっちに来てごらんと大きな声で呼びました。

すると娘がどうしたの？と出て来ました。

あそこにメロンちゃんが出来ていたのよ と指をさしながら

二人で桃の木まで走りました。

ほら！ ね。こんなに大きなメロンになっていたのよ。

今まで何が成るのか解らなかったのよね。。

メロンちゃんがじっと隠れん坊をしていたのよ。

凄いね。と娘も大喜びで写真をとりました。

私は両手でメロンちゃんを抱っこして写真をとりましたよ。

こんなに驚いて喜んだ事はないはね。と私は興奮が覚めません。。

野菜の切りクスや果物の種や皮などを腐葉土にと桃の木の根っこに置いていました。

こんなご褒美が頂けるなんて

今まで辛い事が続いていたから

とてもうれしかったです。。

その時に思いました。

幸せって、、幸福感ってこんな些細な事で良いんだなってね。



つくづく、しみじみと思いました。

今年の夏は心の大豊作でしたよ。

メロンちゃん ありがとう！

## 動物が先よ

---

動物が先よ

我が家の裏庭に大きなメロンちゃんが実っていると喜んでいました。  
もう少し熟してから食べようと、そっとしておきました。  
もう、そろそろ良いのかと  
庭に見に行きました。

この辺りだよね、メロンちゃんね。。  
と胸をはずませて葉っぱの下を覗きました。  
でも、見当たりません。。  
どうしたのかしら？  
この大きな葉っぱさんの下に隠れてたんだよね  
と葉っぱさん達をかき分けてもメロンちゃんがいません。。  
あれれれ？何処へいっちゃんだ。。と探しました。  
夢では無く、確かに大きなメロンちゃんがありました。。  
初めに見た時は大きいメロンちゃんと  
小さい赤ちゃんメロンちゃんがいたわ。。

誰が食べたの？  
リス君？うさ子ちゃん？それともポッサム君なの？  
う～ん、でもいいや。。  
自然に育った物だし、  
先に動物が食べようが人間が先に食べようがお腹の空いていたもの勝ちよね。  
人間にはお金と言う物があるし  
いつでも買って食べる事ができるものね。  
だから、どうぞ動物達から先に食べちゃってよ。  
残った物を私が食べるわね。  
縁量しなくてもいいわよ。  
我が家の庭の物は動物が先よ。  
そういう決まりよ。

お～い！ みんな聞いたかい？  
俺たちが先に食べてもいって さ。。  
よかったなあ！  
ああ、良かったわ。食べ物が心配だったわ。

最近は自然が壊されて私達が食べる物が減ってきたから。。

本当に助かるわ。。

この家の人の様な人が増えるといいね。

俺たち動物も人間に迷惑をかけないように気を付けようね。

そうすれば、もっと自然が増えてくるはずよ

そうだね、、僕達、動物から良い見本をしめそうよ。

賛成よ。。この事を世界中に広めようよ。

いいね。。それで決まりだね。

なるほどね。。人間も動物も譲り合いの気持ちが

平和をもたらすのね。

納得です。。良い事をまなんだわ。。ありがとう。。

## 汗さん大好き

---

汗さん大好き

だれなの？

汗が好きだって人は？

私よ。。

あら、可愛いお嬢さん

どうして貴女は汗が好きなの？

私は汗は臭うし、いやだわ。

私はそう思わないわよ。

汗さんは私が庭で夢中で草取りしたり、お花の手入れをしたり

伸びた草木をチョッキンしたりしていると

いつしか汗さんは（こんにちは）って

私の顔などにキッスをしてくるわよ。

それにね。

私が汗さんと仲良くしていると汗さんの臭いに誘われ

小さな、小さな働き者の蚊ちゃま達もやって来て

私の手足とかにプチュっとお礼の針を指してくれるわ。。

この蚊ちゃま達は好き好んで血を吸っている訳ではないのよね。。

子孫を残すために大昔から続いている知恵よね。

もし人間だって食べ物がこの地球上から無くなってきたら

何を食べるか解らないわよ。。

まあ、、それもそうでしょうけど。。。

普通の人には貴女みたいな事は思わないわよ。。

でも聴いていて。。少しはなるほどと思ったわ。

あのね、それからね。。私は汗さんには良い思い出があるからよ

あら、何なの？

この際、何でも聴くわよ

それはね 小さい時に父親が抱っこしてくれた時にね

お父さんは汗の臭いがしたの

その時に思ったのは。。この汗の臭いはお父さんが一生懸命に私達の為に

働いてくれたものだと思ったの  
だから汗さんは好きなのよ

なるほどね

確かに運動をした後は気持ちも良いしね

悪い事では無いわね

私は今まで誤解していたかもしれないわ

貴女に見習って汗さんを好きになるように動き回るわね

なんだかいい気分になってきたわ

これも貴女から汗さんの思い出とを聴かせてもらったお陰だわ

可愛いお嬢さん。。ありがとう！

♪チリンチリン♪

---

♪チリンチリン♪

何の音なの？

暑い夏に似合う風鈴だよね。  
そうそう、我が家の玄関にガラスの風鈴があるわ  
風が吹くと♪チリンチリン♪  
と一年中鳴っているわ。。  
冬にその音を聞くとより寒く聴こえてくるわ

もう8月も終わり頃です。  
暑いのでアイスキャンディーを食べていました。  
その時に♪チリンチリン♪と聴こえてきたので  
昔。。子供の頃に聴いた♪チリンチリン♪と鳴る音を  
思い出しました。  
それは、おじさんがオートバイの後ろにアイスキャンディーを積んで  
前のハンドルの所にある  
大きなベルを♪チリンチリン♪  
と鳴らしながら家を回っていました。  
その事を思い出しながら食べる味も又、昔に食べた味に似て来ました。  
それから、次の♪チリンチリン♪の音の思い出も蘇ってきましたよ。

それは、お豆腐屋さんが夕方になると  
同じようにオートバイの後ろに  
朝作ったお豆腐の残りや揚げ豆腐などを積んで  
♪チリンチリン♪とベルを鳴らしながら村々を回ってくれていました。  
その音を聞くとご近所のお母さん達が鍋やお弁当箱を持って  
走って買いに行ったものです。  
私も子供の頃にそうやっていたなと  
懐かしく♪チリンチリン♪と思い出した。  
今はアイスキャンディーも大きな冷蔵庫にどっさりあり  
お豆腐も長持ちするパック入りになって便利になったね。  
だけど、あの時の方が素朴で穏やかな生活だった。  
現在は物も豊に便利になったけど  
昔に比べて全ての人が幸せかどうかは解らないね。。

なんだかこの『チリンチリン』の音色が  
何かの気付きを与えてくれた気がしました。

『チリンチリン』 ありがとう！

## 上がり下がり

---

### 上がり下がり

2015年の夏から秋にかけて

株価が急激に下がったりしています。

一つの要因で下がり出すと世界中の株価が下落している状況を見て。。。

私は株に詳しくはありませんが。。

只、思うことは見えない存在価値の低さを感じました。

やはり素人はちまちまと働き続けて少しずつ将来の為に金を貯めて行くほうが

心身共に健康だと思いました。

急激に上がった物は急激に下がるのは当たり前ですね。

ジワジワと上がった時はジワジワと下がることになりますね。

病気で急激な変化は何か以上があるからですね。

応急承知が必要になりますね。

でも、体の異常がジワジワと来ている場合は、医者に行った時は手遅れってこともあるから気を付けなきゃね。

急激な変化とジワジワの変化はそれぞれよね。

また、急に人気者になった人は時期が過ぎれば

人気度も急に下がったりね。

派手に目立たずコツコツと活動している方は

いつまでも変わらない人気ですね。

時間と共に努力を積み上げた物の価値はちょっとそこらの環境の変化では変わりませんね。

あなたはどちらを好みますか？

私ですか。。

若い時は早い良い結果の方を求めていたよね。

でも、、今は時間を掛けて楽しむ方になったわね。

それって。。歳のせい？



まあ、、ね。

例えばどんな？

それは、色々あるけど

子供の小さい時は元気で勉強ができて親の言う事を  
良く聴く子にと願っていたわ。

でも、大人に成った娘達に対しては

その娘達の人生の生き方が豊であって欲しいと  
願うようになったわね。

親としてはどんな境遇の生立ちでもめげずに

自分の存在に有難さを感じて

人生を如何に豊に過すかを磨き上げて頂きたいわ。

それを長い目で見守ってゆくことね。

なるほどね。

だから、急激な変化より緩やかな変化を好むのね

この事は気候や政治、経済にも同じ事が言えるよね。

本当だね。良く見極めなきゃね。

何だか気が穏やかになって来たわ。

ありがとう！

## 小判形のお豆さん！

---

小判形のお豆さん！

私はどんな種類のお豆さんでも大好きです。

エンドウ豆、さやいんげん豆、大納言、小豆、ウズラ豆、うぐいす豆、  
落花生、大豆、黒豆、もやしの豆、  
、一尺豆、三尺豆。。

と沢山ありますね。

私は南の暖かい島で育ちました。

だから、都会では見れな豆さんを見ました。

大きな木にツルを伸ばして野生化した豆さん

そのお豆さんをおばあちゃんが丁寧に取って

炒めて食べさせてくれました。

とても素朴な味だったわ。。

そのお豆さんは今は見かけませんよ

でもあの平たい小判のようなお豆さんのお花やツルを思い出します。

その豆のツルにはたくさんの毛虫さんもいました。

不思議ですね

今日もアメリカ育ちの一尺豆さんとタマネギさんに  
塩サバを炒めて食べました。

その豆の味が何だか昔に食べた豆の味に似ており

子供の頃のあの穏やかな我が家に戻してくれました。

小さい頃に色んな野菜やお豆さん、果物がたくさん回りにはあったわね

そんな素晴らしい所に私は育ったんだと思うと

なんだかとても豊かな心持ちになったわ

あの頃は都会の綺麗な野菜、お店で売っている食べ物をテレビで見ても  
とても羨ましく思ってたわ

でも、今、振り返ってみると素朴に暮らしていた環境がとても有難い。

金持ちで無くても良い、豊かな食事をしなくてもいい

良い服を着なくてもいい

と思える今は尚更に有難く思えるのです。

その時の環境にもっと『ありがとう』と言いたいわ

## リスの指輪

---

### リスの指輪

あら、リス子ちゃん!  
指を眺めて何をニヤニヤしてるの?  
ねえ～照れていないで教えてよ

だって、大好きなリス男さんからもらったんだもん。。

どれどれ。。見せて。  
あら！まあ。。それはそれはワンダフルだわ  
ナッツの殻で出来ているのね  
リス子ちゃんの指にぴったしね  
素敵だよ。。

まあ ありがとう  
結婚指輪はダイヤモンドみたいにキラキラ光る物が欲しいと思ったわ  
でも、今では何でも素敵に思えるわ

その考え方素敵ね

だって、彼が一生懸命に作ってくれたんだもの。。

そうよ 指輪なんってね  
貴女の幸せと思う気持ちをはめ込めばいいのよ  
どんな高い物でも幸せを感じないものなら、  
ただの輪っばに過ぎないよ

ええ 私もそう思うわ  
彼が結婚して下さいと言ってくれた事が最高にうれしいもの

そうよ そのプロセスに入ったことが肝心よね  
後は二人で助け合って世界一幸せなリス夫婦になってね

わかったわ 私も木の実を集めたり、やり繰り上手の奥さんになるわね

そうよ 頑張ってね

そして、赤ちゃんをたくさん産んでいい

素晴らしい家庭を築いてね

そしたら我が家の裏庭はリスちゃん達でにぎやかになるわね

食べれるナッツの木をたくさん育てるわね

ありがとう その時はお世話になるわね

いいわよ 楽しみが増えたわ ありがとう！

## 我が家の桃ちゃん

---

### 我が家の桃ちゃん

8月も終わり朝晩ともに涼しくなった頃です。

我が家の野生の桃ちゃんを収穫しました。

毎年、食べようと思う頃にはリス君達が全部食べ尽くしてしまい。。

人間様は頂くことが出来ませんでした。

しかし、、今年は違いますよ。。

何が違うの？

それはね。。リス君達が食べても余る様に

桃の木を沢山植えたのよ。

それも食べた種から育てたものよ。。

もう10本ほどあるわよ。。

冬の寒さの厳しい所でも育つんだと解ったからよ。

今年は家に一番近い桃の木さんはリス君達が縁量したのかな。。

食べずに育っていましたよ。

時々、チェックしてました。

よしよし、、未だ残っているね。。と桃ちゃん達をなでなでしてました。

そして、赤く色着いた頃に

日本のお友達が桃ちゃんを梅干しが作れると教えてくれました。

早速、ザルを持ち出して初めての桃ちゃんの収穫に取り掛かりました。。

嬉しいもんですね。我が家で取れた桃ちゃんを自分の手でもぎ取るのよ。。

桃ちゃんを大事に握り、少しくねって取るのね。

細い枝は大きく成った桃ちゃん達で垂れ下がっていましたが

取っていくうちにひょ～んと上の方へ跳ね上がって行きましたよ。。

そうっか。。枝さん、重かったのね。ご苦労さまでした。

今まで折れずに桃ちゃん達を守ってくれたのね。。

ありがとう。。

そう善いながら収穫しました。

もちろん、少しはリス君達の為。。いや、虫さん達の為にも残しておきました。

桃ちゃん達を綺麗にへたを取ったり肌を拭きふきしていると

あっちこっちと虫さんが食べた後が黒色になってました。

その桃ちゃんは梅干しにはできないので避けました。

残った桃ちゃんにお塩とお酢、お酒を入れて漬けました。

昔の漬け方と違いますね。。でもそれでいいですってよ。

又ね、虫さん達が食べ残しものを丁寧に切り取って  
食べてみましたよ。。

するとね。。。なんと、なんと。。

私が子供の頃に食べた野生の桃ちゃんと同じ味がしました。

懐かしいなって思いながらパクパクと食べました。

それは懐かしさが幼い頃へ戻してくれました。

食べ終わってから よっし、、来年も桃ちゃんの木を植え続けようってね。

そしたら他の動物も食べに来てもいいよね。

人間だけでは食べきれないほど豊作に成ってほしいね。

お友達にもお裾分け、、ジャムにしたり、ピーチパイもできるよね。。

あ～想像しているだけで胸が一杯に成ってきたよ。

それってさ。。幸せを感じたんだよね。。

そうか、、桃ちゃんのお陰で又、幸せを見つけたのね。。

ありがとう。。桃ちゃん！

ねえ～虫君！

---

ねえ～虫君！

久しぶりね。。

君とはずっと前からお友達よね。

あ、そうだよ。でも君は元気がないね？

あら、そう、どうして？

だってさ、君は子供の頃は元気で野原を走り回っていたじゃない。。

いつも、僕と野生の野いちごを取り合っていたじゃない。。

あ、、そうだったわね。。

あの時は楽しかったね。

小雨でも傘をさしながらイチゴを集めたっけね。

そそ、、蘇鉄の葉でカゴを編んで、その中にイチゴを入れてたよね。

私が大きなイチゴを見つけたっと思って取ると

虫君が先に味見をしてあったわよ。。ね。

いつも私より先に食べてあったわ、意地悪ね。。

いや。。そんなことは無いさ。

ちゃんと君の分は残してあったじゃないか。。

う～ん、、そうだったっけ。。

そう言われれば。。そうね。。確かに半分は残してあったわね。。

美味しかったね。。

でも、虫君が味見をしたイチゴは苦いもの。。

口に入れてから直ぐにはき出したわよ。。

ごめん、ごめん、、僕ら虫達は君達みたいに食べ物が

他にはないんだよ。。自然に生えている物、野原や畑とかの野菜とかね。。

そっか、、それだけだよ

私はたくさん食べ物があるものね。。

でもね。。お母さんが言っていたよ。  
虫の食べた物はみんな美味しいんだって。。  
子供の頃はへ～そうなんだと思ったけど。。  
今、大人に成ってからは良くその意味が解る様になったよ。  
だって、、綺麗な野菜とか果物ってさ。。  
みんな虫除けの薬を巻いているものね。。  
だから、買って来た物は良く洗わないといけないね。。  
大変だよ。。そうしないと体の中に毒を入れることになるもの。。

だから、、今は庭で野菜や果物、お花を植えているけど。。  
そんな薬とか使わないよ。。虫君達と一緒に育った物が一番だと  
知っているから。。  
だから、こうして虫君に会える訳よ。。ね。。虫君。。

ああ。君の言う通りだよ。。  
貴女のような人が沢山この地球上にいと良い世の中なんだが。。

大丈夫よ。。虫君！。。今は自然に優しいものが体に良いつて  
大抵の人は知っているよ。  
肌が荒れたり、病気になったりしてね。。アトピーとか医者に言われたり。。  
沢山の人が悩んだりしたから、、  
今は体に優しいものはもちろん地球にも優しいのよ。。  
小さい虫君達に良かったら一番良い世の中になるね。

ああ、、、、そうだ、そうだよ、  
僕は君みたいなやさしい友達を持って幸せだ。。

いやいや、、虫君達が頑張って訴えて来たからだよ。。  
ありがとうね。。  
これからも良いお友達でいようね。。

オッケー、、ガッテンだ！



## 鈴虫君

---

鈴虫君

何をささやいているの？

♪ちんちろり～ん♪

あ。。とても涼しい感じね。。

なんだか風鈴がささやく様だよ。。

そう聴こえる様にささやいているんだよ。。

暑い夏を皆が頑張って毎日のお仕事に精をだしているから

せめて仕事の終わった夜とか休みの日には朝からでも

♪ちんちろり～ん♪ってね。。

それはそれはありがとうございます。

鈴虫君って偉いのね。。

小さいのに大きな音を響かせて人間様を励ましているのね。

いや～本当は別の意味があるんだ。。

あら！本当の意味って 何？なんなの？

それはね。。夏が暑かろうとも一生懸命に働く人や動物に対して

正しいものはどんな時であろうとも歪まないで何時までも

正しくある事は偉大だよって訴えているのさ。。

え～！そんな素晴らしい意味があったのね。

そっか、、でも解る様な気がするわ

鈴虫君のささやく声は何だか心が澄まされる気がするものね。

私も鈴虫君に同感よ。。

清く正しく生きていると質素に暮らしている事が一番の幸せって思うもの

最近ようやくね。。

それは良かった。。僕も君の側でずっとささやくよ。。

あら、ありがとう。。鈴虫君！

私も頑張るわね。。また来年も会えるわね？

もちろんだよ。。♪ちんちろ～りん♪

夏さん！待ってよ～

---

夏さん！待ってよ～

ねえ、ねえってば～夏さん！

まだ、いいじゃないの？

もっと、長く居てもさ

彼方が早く去っちゃっては困ってしまうわ

あれ、、どうしたの 君？

大抵の人は暑いのは嫌だ～嫌だ～と言ってるさ

どうして君だけはまだ居てくれって頼むんだい？

僕にはさっぱり解らないよ 貴女の気持ちがね

だってさあ、、いつも通りに夏さんは9月の始め頃までいてくれないと。。

本当に困っちゃうのよ

心の準備ってものがあるよ

朝晩と少しずつ寒くなれば。。ああ、もう夏も終わりね。。

鈴虫君も鳴出したし、、そろそろ秋さんをお迎えする準備をせねばと  
する事がたくさん有るのよ。。

やる事って何？

それは先ず、、庭のニラ君が花を付けて種になるまえに根元から切り取って  
冷凍保存するでしょう。。

それから、、シソさんも取って、、塩漬にせねばね。

秋さんが来ると他の事で忙しくなるからよ。

他の事とは何？

だって秋さんが直ぐ来たら落ち葉の世話で忙しくなるよ。

すると大事なお野菜さんを取り損ねてしまうもの

それにね 夏服を丁寧に手洗いしたいでしょう

そして秋物、冬物と入れ替える作業が待っているよ

なるほどね

色々と準備があるんだね

よっしゃ～じゃ～今年も急がず、もう少し例年通りに居てやるよ。。

本当?。。ありがとう!

そうこなくっちゃね

夏は大好きなのよ

暑いと何だか体から悪いものが溶けていくようで好きなのよ。。

汗を出すほどに体を継ごかしてね。。

お掃除をしたり、料理をしたり、もちろん庭仕事もよ。

そして大好きな編み物、和紙で草花を作るわ

色んな事を満喫しながら夏は有難いねって思うまでやるのよ

そう思う頃には夏さんは満足して

そろそろ僕はサヨナラするよって 声が聞こえてこなくっちゃね。。

なるほど。。そこまで君は僕の事が好きなんだね

ありがとう。。僕も人が嫌う夏の役を引き受けた甲斐があるよ。

9月の半ば頃までは居るから、、頑張れよ。

また、来年に会おう。。

解ったわ。絶対にいつも通りに来てよ。

解った、、心配するな。。

待っているよ。。夏さん!

ありがとう!